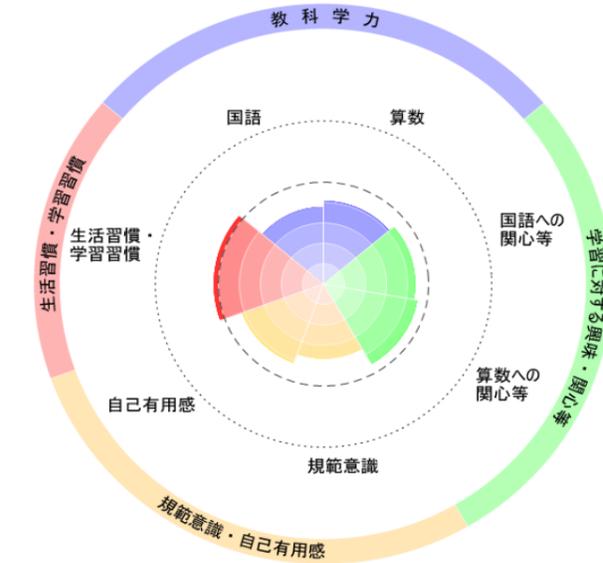


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○選択式の問題は比較的正答できている。</li> <li>●日常的に漢字を使う力が弱い。</li> <li>●全体的に文章の読解力が低い。</li> <li>●資料と文章を関連付けて理解するのが苦手。</li> <li>●問題の後半での無回答率が高い。問題に取り組む根気強さに欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を単に覚えるだけでなく、その漢字の意味理解をするとともに、日常的に日記等を通して、文章を書く習慣をつける。</li> <li>・問いに対する個人思考の時間を確保し、自分の思いや考えを文章等でまとめる活動を増やす。</li> <li>・学習に向かう体力を6年がかりでつける。授業を通して、個別の声かけや支援を通して、伸びを認め、ほめ、できる喜び、達成感を持たせるようにする。</li> <li>・様々な文章に触れる機会を増やすために図書館教育との連携を図る。</li> <li>・朝読書等を通して文章に向かう時間を増やす。</li> <li>・文章を読み取るコツを習得できるような手立てを講じる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題場面や解答例が示されている問いに対して、その求め方を解釈し、適用して解答できている。</li> <li>●グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができていない。また、複数のグラフを関連付けて考えることが苦手。</li> <li>●長い文章や説明に必要な情報が読み取れず誤答になる場合がある。</li> <li>●多くの問題に対して無解答率が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において、個人思考の時間を確保し、自分の考えを持たせるようにする。そのため、解決のための手立て、見通しを持たせるための工夫をする。</li> <li>・正答数が2極化していることもあり、みんなが考え、理解できる学びにするために、授業において、「個人→小集団→全体→個人」という学習過程の中で協働的な学びになるように心がける。</li> <li>・グラフの読み取りについては、資料の特徴や傾向をいろいろな角度から考えるようにするとともに、多様な表現の仕方を考えるようにする。また、社会や理科など他教科においても、資料の読み取りを大切に指導していく。</li> <li>・答えを導き出すだけでなく、その解決過程を丁寧に指導していく。多様な解決方法、公式の意味、既習事項との関連など。</li> </ul>

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



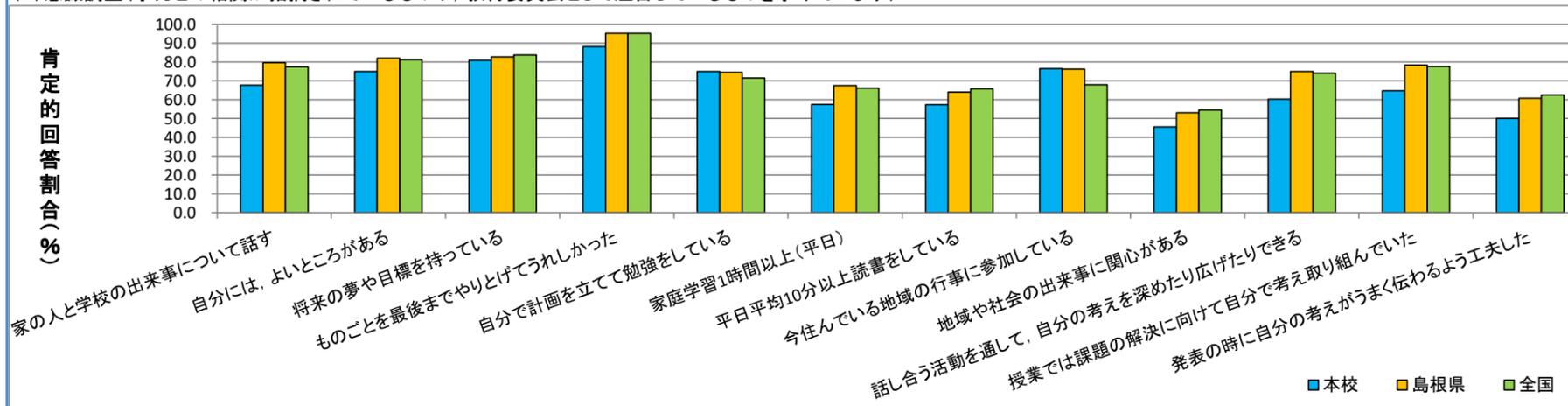
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規則正しい生活習慣をおくることができている。</li> <li>○自分で考えて計画立てて勉強している児童の割合が高い。</li> <li>○学校が楽しいと感じている児童の割合が高い。</li> <li>○地域の行事に積極的に参加している。</li> <li>○国語や算数の学習は大切だと考えている児童の割合が高い。</li> <li>●学校の決まりを守るなどの規範意識が低い。</li> <li>●朝食を食べる習慣がついていない児童が少なからずいる。</li> <li>●学校での出来事などを家庭で話をする機会が少ない。</li> <li>●学習に向かう姿勢が消極的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の手引きをもとに家庭学習の仕方、内容について指導していく。(家庭学習について、学校の授業で学習したことを自主学習で復習するなど、授業と家庭学習をリンクさせる。)</li> <li>・宿題の確認に際しては、単なるチェックに終わらず、評価するとともに良い取組があれば学級全体へ広げていく。</li> <li>・授業の中で、自分で考える力、それを伝える力、学んだことをまとめる力を育成していくことを心がける。個人思考の時間の確保と課題解決の見通しを持たせる手立てを工夫すること、小集団学習など自分の思いを伝える場を設定する。まとめやふりかえりの時間を確保し、学んだことを自分なりにまとめさせる。</li> <li>・日々の生活指導や道徳の学習の中で規範意識の大切さを理解させる。</li> </ul>

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業において大切にすること</li> <li>・単元及び本時の目標(めあて・ねらい)の明確化</li> <li>・ふりかえりの時間の確保</li> <li>・課題に対する自分なりの考えを持たせるための工夫</li> <li>・子供同士の関わり合いの場の工夫</li> <li>○学習規律を徹底する</li> <li>・時間を守る</li> <li>・授業の準備をする</li> <li>・正しい姿勢</li> <li>・話の仕方、聞き方の指導</li> </ul>
--

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	53	63	62	63.8
算数	59	66	65	66.6

受検者数 68人  
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。